

AIエージェント 研究ノート 自動化システム

AI Agent-driven Autonomous Research Notebook System ・ AAA-RNS

インストール ・ 使用ガイド

新規導入した企業 ・ 研究所の利用者向け教育資料

文書番号

AAA-RNS-UG-200

適用バージョン

v2.0 ・ 2026年8月

開発

Seung Ho Jung

対象読者

作成者 ・ 点検者 ・ データ管理責任者

目次

00	はじめに	概要・設計原則・検証結果
01	インストールと登録	インストール・インストール確認・インストール完了確認・インストール完了確認
02	プロジェクト構成	文書アップロード・抽出確認・システム生成
03	研究ノート作成	自動執筆・検証ゲート・署名と確定
04	記録管理とサポート	証拠台帳・バックアップ・トラブル対応・法的告知

このソフトウェアの役割

STEP 01

課題文書をアップロードする

研究開発計画書・提案書・性能指標表
。PDF・DOCX・XLSX・HWPX・CSV・
・TXT を読み取ります。

STEP 02

専用環境が構築される

課題名・期間・ワークパッケージ・性能指標を解析し、スプリント格子とノートスロットを構成します。

STEP 03

ノートの下書きが作成される

実験日誌・測定データをアップロードすると、実施内容・結果データ・解釈が自動で作成されます。

インターネット不要 — すべての処理がこの PC の中で完結します。

外部依存ゼロ — パーサー・文書生成器・チャートはすべて自社実装。

3言語対応 — 한국어・English・日本語 の画面と出力物。

正本出力 — 確定ノートを DOCX・XLSX でダウンロードします。

4つの設計原則

偽りを書けないシステムー生成する力より遮断する力が先です。

01 証拠なくして記載なし

すべての記述文は証拠台帳の証拠ID [E#] に対応づける必要があります。証拠のない文は記載できません。

02 過去と矛盾しない

新しいノートは確定済みの過去ノート全体と照合されます。期間の重複・相異値・逆行は排除されます。

03 全ゲート通過

G1 証拠マッピング・G2 過去整合性・G3 数値監査・G4 指針遵守。4つのゲートは遮断装置です。

04 確定後は不変

確定したノートは修正できません。変更は改訂版(-R#)の発行のみで行い、SHA-256 ハッシュチェーンが改ざんを即座に明らかにします。

検証結果

1,206,006

総シミュレーション回数

12 / 12

実行サイクルー 上限を全消化

3

製品の実欠陥ー 全件修正 (解析器
器・PDF パーサー・ゲート)

PASS

最終判定ー 公式に使用可能

検証方法は、シミュレーションー問題発見ー問題解決の反復サイクルと、実ブラウザでの縦断検証です。1サイクルあたり最低100,000 回を実行し、シード方式により同じサイクル番号は同じ結果を再現します。サイクル上限は 10 から 12 に引き上げられました。

17カテゴリー 日付・数値演算、CSV/DOCX/XLSX 往復、パーサーのファジング、解析器の正解照合、敵対的な文書形式、ゲートへの欠陥注入、ハッシュチェーン、ストレージ同時性、自動下書き、多言語辞書、縦断パイプライン。한국어・English・日本語 の3言語で全画面・全手順を自動走行した縦断検証も無欠陥で通過しました。

01

インストールと登録

解凍 → プログラム起動 → 言語選択 → ライセンス認証 → 初期設定

動作環境・インストール手順・初回起動・言語選択・ライセンス認証・氏名・PIN・保存先

動作環境

OS	macOS 12 以降、または Windows 10 以降
ブラウザ	Chrome または Edge (最新版を推奨) — チーム共有フォルダ機能はこの2つのブラウザのみで動作します
追加ソフトウェア	不要 — Mac は標準搭載の Python、Windows は標準搭載の PowerShell を使用します
ディスク容量	プログラム約 1MB + 記録データ (アップロード原本の容量に比例)
ネットワーク	不要 — 完全オフライン動作 (任意機能の AI 推敲を使う場合のみ当該 AI サービスに接続)

インストール手順

01 2つを受け取ります

インストールファイル AAA-RNS_v2.0.zip と、ライセンスキー — 長い文字列1行または .lic ファイル。

02 解凍がそのままインストールです

任意の場所に解凍すれば完了です。インストーラーも管理者権限も必要ありません。

プログラムは各自の PC に、記録は会社の共有ドライブの1フォルダに — これが標準構成です。チームで共有すべきものはプログラムではなく記録データです。

解凍すると作られるもの

start_mac.command	Mac 起動ファイル — ダブルクリック
start_windows.bat	Windows 起動ファイル — ダブルクリック
sample_docs/	体験用サンプル文書
docs/	取扱説明書・検証報告書・インストール使用ガイド
index.html ・ js ・ css ・ agents	プログラム本体 — 変更しないでください

プログラムの起動

MACOS

start_mac.command

ダブルクリックします。初回のみ「開発元が未確認」の警告が出ることがあります。ファイルを右クリックして「開く」を選び、もう一度「開く」を押してください。

WINDOWS

start_windows.bat

ダブルクリックします。SmartScreen の警告が出たら「詳細情報」を押し、「実行」を選んでください。

ブラウザが自動で開きます

アドレスは `http://localhost:8777` PC

注意 — サーバーの窓を閉じないでください

一緒に開く黒い窓がシステムのエンジンです。作業中はそのままにしてください。

言語選択

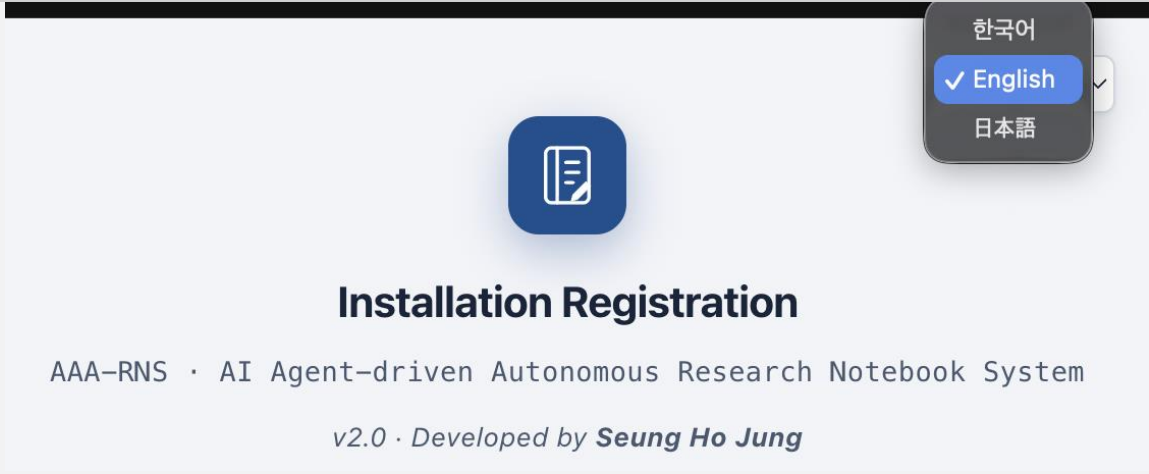


図1 — 最初の画面の右上にある言語セレクトター (한국어 / English / 日本語)



図2 — 切り替え後の画面。画面全体が選択した言語で再描画される

対応言語

한국어・English・日本語。初回起動時にブラウザの言語を検出して自動選択します。

最初の画面で切り替える

ライセンス認証画面の右上のセレクトターを使います — アプリに入る前はここが唯一の切替手段です。

使用中に切り替える

画面右上のセレクトターでいつでも切り替えられます。選択はこの PC に保存されます。

出力物

DOCX 正本・XLSX データの項目名も選択した言語で出力されます。

注意

会社データ — 課題名・機関名・氏名・証拠原文 — は翻訳しません。記録の原本性が優先です。

ライセンス認証



- 01** キー文字列を入力欄に貼り付けるか、**.lic ファイルを選択** でキーファイルを選びます。空白や改行が混ざっても自動で整えられます。
- 02** **登録認証** を押します。電子署名の検証で即座に完了し、インターネット接続は不要です。

参考

ライセンス1件 = プロジェクト1件。最初のプロジェクトを作成した時点でキーがその課題番号に帰属し、別のプロジェクトには新しいキーが必要です。

図1 — 初回起動時に表示されるライセンス認証画面

初期設定

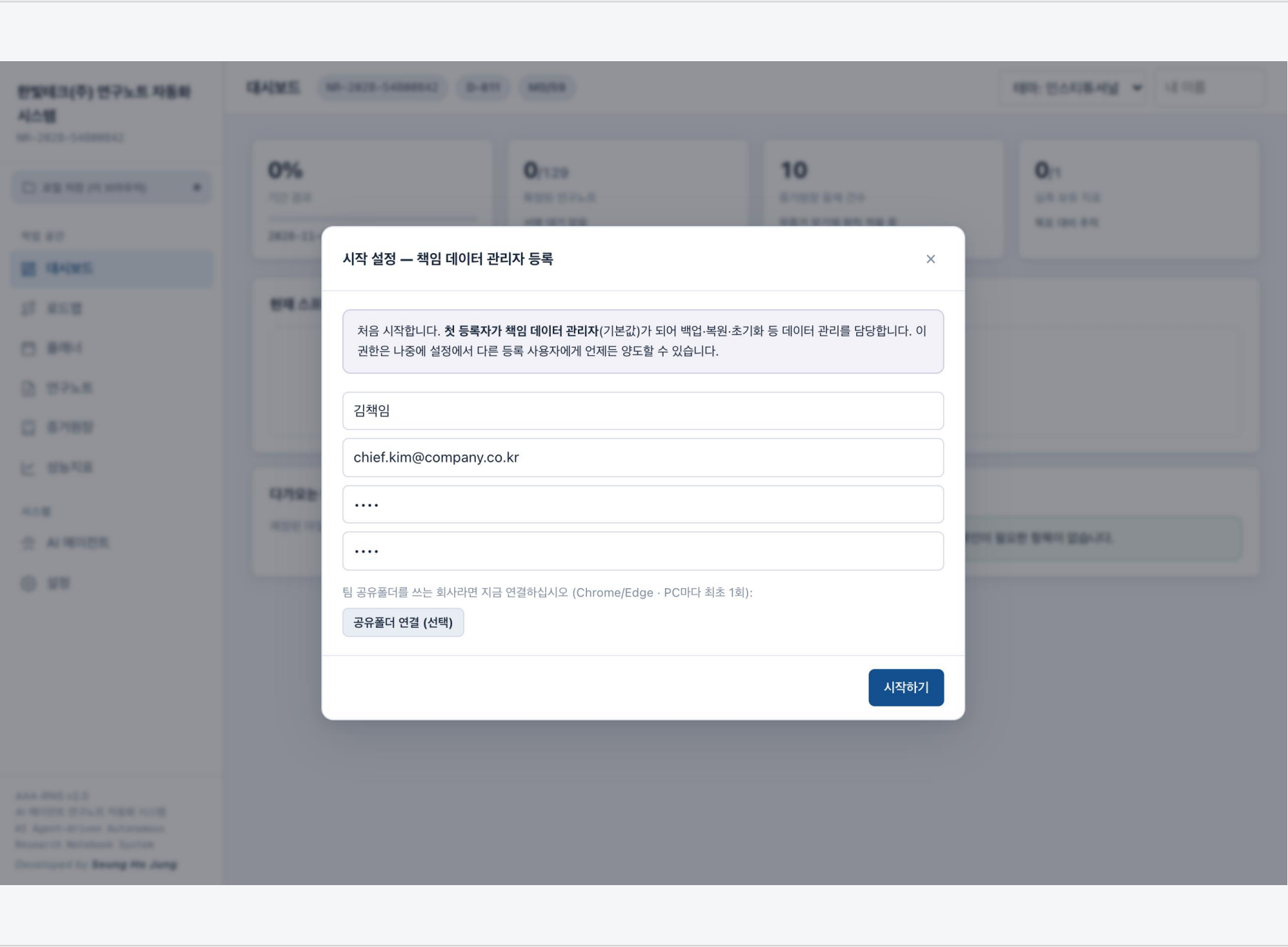


図2 — 初期設定ウィンドウ。最初の登録者は自動的にデータ管理責任者になる

氏名・メール・PIN

研究ノートの署名に使う氏名とメール、確認用 PIN (4桁以上) を登録します。

最初の登録者 = データ管理責任者

バックアップ・復元・初期化の権限を持ちます。以降の登録者は参加研究員として登録されます。

共有フォルダ接続

チームで使う場合は、このとき会社の共有ドライブのフォルダを指定します。PC ごとに初回1回のみ。接続先は常に左上上に表示されます。

02

プロジェクト構成

文書アップロード → 深層解析 → 抽出結果の確認 → システム生成

システムは勝手に決めません — すべての抽出値は利用者が確定します

オンボーディングの4段階

01

文書アップロード

計画書・提案書・日程表・指標表を点線のボックスにドラッグします。複数まとめてアップロードできます。

02

深層解析

課題名・番号・機関・期間・予算・WP・性能指標・マイルストーン・参加人員を抽出します。抽出値ごとに根拠と信頼度が付きます。

03

抽出結果の確認

各項目を確認・修正してから進みます。抽出できなかった項目は「確認が必要な項目」として表示されます。

04

システム生成

研究期間が隔週または週次のスプリントに分解され、スプリントごとにノートスロットが1対1で作られます。

研究文書のアップロード



何をアップロードするか

課題を説明する文書 — 研究開発計画書、提案書、日程表、性能指標表。

対応形式

PDF・DOCX・XLSX・HWPX・CSV・TXT

参考

まず体験するには、sample_docs/ フォルダのサンプル文書2つをアップロードしてみてください。実際の文書はシステム初期化後に改めてアップロードできます。

図3 — 文書アップロードの段階。登録されたファイルが一覧に表示される

抽出結果の確認

AIエージェント研究ノート自動化システム

AAA-RNS ・ AI Agent-driven Autonomous Research Notebook System

v2.0 ・ Developed by *Seung Ho Jung*

研究文書をアップロードすると、システムが課題構造を分析し、貴社専用の研究ノート自動化環境を構成します。

✓ 文書アップロード

✓ 詳細分析

3 抽出結果を確認

4 システム生成

抽出された課題情報

システムが勝手に決定することはありません — 各項目を確認・修正してから進めてください。

課題名 信頼度 高

課題番号 信頼度 高

친환경 발효 플랫폼 개발

RS-2029-70477079

実施機関(会社名) 信頼度 高

専門機関/省庁 信頼度 高

性能指標 (KPI) ・ 2件

指標	単位	目標	方向
예측 정확도	%	91	高いほど良い
공정 수율	%	88	高いほど良い

← 文書を選び直す

この内容でシステムを生成 →

システムは勝手に決めません。確定するのは利用者です。

抽出される項目

課題名・課題番号・実施機関・研究期間・予算・ワークパッケージ・性能指標・マイルストーン・参加人員

信頼度の表示

項目ごとに 高・中・未確認 が表示され、根拠 (文書・位置・引用) が付きます。誤りはこの画面で直してください。

次の段階

「この内容でシステム生成」を押すと、スプリント格子・ノートスロット・指標ダッシュボード・エージェント構成が完了します。数十秒もかかりません。

図4 — 信頼度の低い項目はバッジで示され、確認を求める

生成された作業空間



ダッシュボード

期間の経過率、確定ノート数、署名待ち、証拠の登録件数、今後のマイルストーンと現在のスプリント。

ロードマップ

WP ごとの期間バー上にノート状態の点 — 緑は確定、琥珀は署名待ち、紺は下書き。◆はマイルストーン、赤い線は今日。

プランナー

スプリント一覧。行をクリックするとその期間の研究ノートが開きます — なければ新規作成されます。

03

研究ノート作成

資料アップロード → 証拠登録 → 自動執筆 → ゲート検証 → 署名 → 確定

文は証拠の原文からのみ生まれます — 創作も要約もしません

作成の流れ

01 ノートスロットを開く

プランナーまたはロードマップでその期間のスプリントを選びます。

02 証拠の登録

ファイルをアップロードして証拠候補を登録 ([E#] を付与) するか、直接記録を残します — 直接記録は証拠強度「低」です。

03 本文と測定値

すべての文末に [E#] を引用し、測定値値は指標カタログと証拠に紐づけます。

04 ゲート検証

G1～G4 を実行して判定を受けます。指摘は位置・理由・対処とともに表示されます。

05 署名と確定

寄与者署名の後、点検者が最終承認します。作成者本人の承認は遮断されます。

06 正本出力

DOCX 正本と XLSX データをダウンロード、または印刷します。

順序は変わりません — 証拠が先に登録されて初めて文が生まれます。

그린바이오텍

研究ノート自動化システム

IR-2028-2580689

←

研究ノート・

RN-20280101-20280114

IR-2028-2580689

D-505

M0/37

テーマ: インスティテューショナル ↕

自分の名前

日本語

📁 ローカル保存 (このブラウザ) ●

ワークスペース

🔧 ダッシュボード

📍 ロードマップ

📅 プランナー

📄 研究ノート

📑 証拠台帳

📈 性能指標

システム

👤 AIエージェント

⚙️ 設定

AAA-RNS v2.0

AIエージェント研究ノート自動化システム

AI Agent-driven Autonomous Research Notebook System

Developed by **Seung Ho Jung**

RN-20280101-20280114

● 下書き

↓ DOCX

↓ XLSX

🖨️ 印刷

作成期間

作成者

点検者 (作成者と異なる必要あり)

2028-01-01 ~ 2028-01-14

WP1

WP2

WP3

WP4

WP5

WP6

WP7

WP8

添付原本・証拠登録

ファイルをアップロードすると SHA-256 ハッシュが記録され、内容から証拠候補を抽出します。

添付なし

📁 実験日誌・測定データのファイルをドラッグ&ドロップ、またはクリックしてアップロードしてください

🔍 分析を開始 (自動執筆)

📄 手動登録 (候補を選択)

➕ 直接記録 (研究者の陳述)

1. 期間目標

この期間に達成しようとした目標

項目なし — 証拠がなければ空欄のままにしてください (「該当期間に関連する証拠資料なし」と出力されます)

➕ 項目を追加

2. 実施内容

実際に実施した活動 — 全文に[E#]引用が必須

項目なし — 証拠がなければ空欄のままにしてください (「該当期間に関連する証拠資料なし」と出力されます)

➕ 項目を追加

3. 結果データ (記述)

観察・産出結果の記述 — [E#] 引用必須

項目なし — 証拠がなければ空欄のままにしてください (「該当期間に関連する証拠資料なし」と出力されます)

➕ 項目を追加

図5 — ノートエディタ。点線のアップロードボックスと「分析を開始」が自動執筆の入口

作成期間の確認

最上部にスプリント期間が表示されます。この期間が自動執筆の採否基準です。

作成者と点検者

点検者は作成者と別人でなければなりません。同一人物が承認まで行うことをシステムが防ぎます。

本文の構成

実施内容・結果データ・解釈。すべての文末に証拠番号[E#]が付きます。

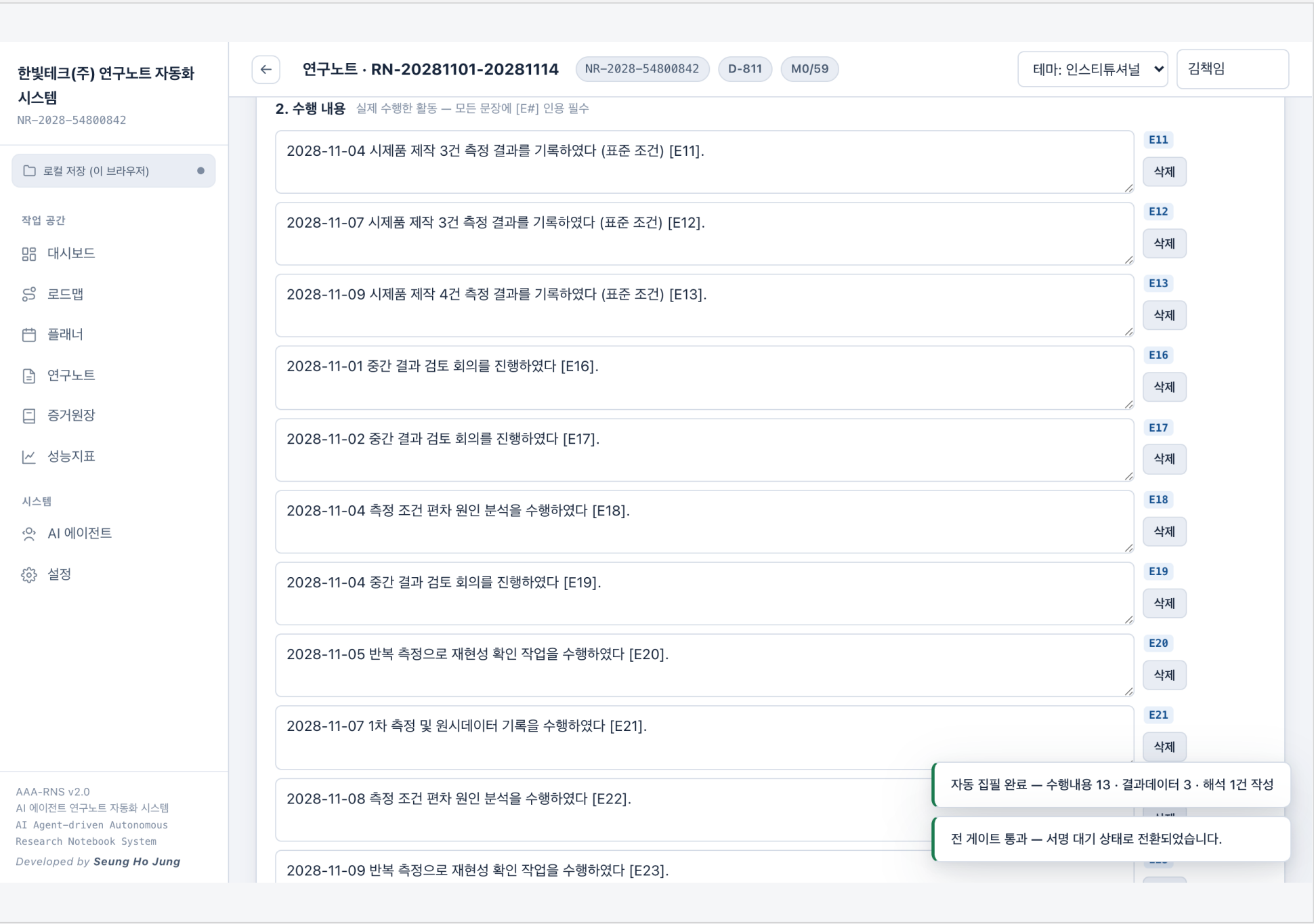


図6 — 自動執筆された実施内容。各文の右に紐づく証拠番号が表示される

実施内容

日付のある活動記録のうち期間内のものだけを文にします (+[E#])

結果データ

測定値を指標カタログに対応づけて行を生成します (+証拠の紐づけ)

解釈

測定値と目標の算術比較の事実のみを記述 — 達成判定は行いません

原則

文は証拠の原文からのみ生まれます。測定値は決して補正しません。記録の日付が期間外なら、システムがその期間のノートを見つけて提案します — 登録された証拠はいかなる場合も台帳に残ります。

検証ゲート G1-G4

G1 証拠マッピング 証拠番号のない文、台帳にない証拠ID の引用、推測・誇張表現 (「成功裏に」「約N」「と判断される」)

G2 過去整合性 確定ノートとの期間重複、同じ指標・同じ時点での相異値、累積指標の逆行

G3 数値・単位監査 合計・比率の再計算、単位表記、百分率の範囲、目標に対する方向、根拠のない「達成」表記

G4 指針遵守 電子研究ノートの必須フィールド、作成者=点検者 (自己点検)、添付ハッシュの欠落、本文ハッシュの不一致

2つのモード 勧告 (既定) — 指摘があっても保存され「補完項目」として保持されます。必須 — 指摘が1件でもあれば差し戻されます。設定で切り替えます。

그린바이오텍
研究ノート自動化システム
IR-2028-2580689

로컬保存 (このブラウザ)

ワークスペース
ダッシュボード
ロードマップ
プランナー
研究ノート
証拠台帳
性能指標
システム
AIエージェント
設定

AAA-RHS v2.0
AIエージェント研究ノート自動化システム
AI Agent-Driven Autonomous
Research Notebook System
Developed by Seung Ho Jung

研究ノート
RN-20281007-20281020
IR-2028-2580689 D-505 M0/37
テーマ: インスティテューショナル
自分の名前
日本

5. 解釈 結果の意味 — [E#] 引用必須
項目なし — 証拠がなければ空欄のままにしてください (「該当期間に関連する証拠資料なし」と出力されます)
+ 項目を追加

6. 次期計画 次期間の計画 — [E#] 引用必須
項目なし — 証拠がなければ空欄のままにしてください (「該当期間に関連する証拠資料なし」と出力されます)
+ 項目を追加

検証ゲート G1 証拠マッピング・G2 過去整合性・G3 数値・単位・G4 指針遵守 — モード: 勧告(advisory)

G1 PASS

G2 PASS

G3 PASS

G4 指摘2件

G4・G4-작성자 — 작성자
作成者が指定されていません。
措置 作成者を指定してください。

G4・G4-点検者 — 점검자
点検者がいません。
措置 点検者を指定してください。

🔄 ゲート検証を実行

署名・確定 ① 寄与者署名 → ② 最終承認(相互承認の原則 — 作成者本人の承認は不可) → 確定(sealed)後は不変

寄与者署名: なし

署名者名

✓ 寄与者署名

🔒 最終承認・確定

図7 — 4つ中3つの門が通過した。指摘があれば位置・理由・対処がカードで表示される

ゲートは修正提案ではなく遮断装置です。

署名と確定



01 作成者が 寄与者署名 を行います。

02 点検者が自分の名前で 最終承認・確定 を行います。作成者本人が承認を試みると、相互承認の原則により拒否されます。

確定後

修正不可 — 変更は改訂版 (-R1, -R2...) の発行のみ。

原本 JSON と正本 DOCX が archive/ ? ? ? ? ? ? ? ? ます。

ノートのハッシュが直前の確定ノートのハッシュと鎖状に連結され、以後のいかなる改ざんも検証で明らかになります。

図8 — 確定した研究ノートの正本表示。DOCX・XLSX のダウンロード、印刷、改訂版の発行ができる

04

記録管理とサポート

証拠台帳・性能指標・AIエージェント・保存とバックアップ・トラブル対応・法的告知

監査対応の出発点は証拠台帳、完全性の根拠はハッシュチェーンです

証拠台帳と性能指標

그린바이오텍

研究ノート自動化システム

IR-2028-2580689

ローカル保存 (このブラウザ)

ワークスペース

ダッシュボード

ロードマップ

プランナー

研究ノート

証拠台帳

性能指標

システム

AIエージェント

設定

AAA-RNS v2.0

AIエージェント研究ノート自動化システム

AI Agent-driven Autonomous Research Notebook System

Developed by **Seung Ho Jung**

← 証拠台帳 IR-2028-2580689 D-505 M0/37

テーマ: インスティテューショナル 自分の名前 日本語

証拠なくして記載なし — 研究ノートのすべての記述文は、この台帳の証拠ID [E#] 1件以上にマッピングされる必要があります。認定ソース: アップロード原本・確定済み過去ノート・計画書抽出分。

ID	種類	内容	出典・位置	登録
E24	陳述	日付 指標 値 単位 測定条件	측정데이터.csv 段落1	(未指定) 2026-08-14
E23	測定	2029-10-01 공정 수율 77.7 % 표준 조건 3차	측정데이터.csv 段落6	(未指定) 2026-08-14
E22	測定	2029-10-07 공정 수율 81.9 % 표준 조건 2차	측정데이터.csv 段落5	(未指定) 2026-08-14
E21	測定	2029-10-10 공정 수율 79.4 % 표준 조건 1차	측정데이터.csv 段落4	(未指定) 2026-08-14
E20	測定	2029-10-05 예측 정확도 68.1 % 표준 조건 2차	측정데이터.csv 段落3	(未指定) 2026-08-14
E19	測定	2029-10-08 예측 정확도 66 % 표준 조건 1차	측정데이터.csv 段落2	(未指定) 2026-08-14
E18	参照	처리 지연시간 / 目標 73	연구개발계획서.docx 表1!R4	onboarding 2026-08-12
E17	参照	예측 정확도 / 目標 89	연구개발계획서.docx 表1!R3	onboarding 2026-08-12
E16	参照	에너지 효율 / 目標 66	연구개발계획서.docx 表1!R2	onboarding 2026-08-12
E15	参照	WP8: 데이터셋 라벨링 검증	연구개발계획서.docx 段落15	onboarding 2026-08-12
E14	参照	WP7: 특징 추출 최적화	연구개발계획서.docx 段落14	onboarding 2026-08-12
E13	参照	WP6: 데이터 전처리 체계 구축	연구개발계획서.docx 段落13	onboarding 2026-08-12

証拠台帳

アップロード資料から抽出されたすべての事実断片が [E#] とともに登録されます。証拠ごとに種類 (測定・陳述・参照)・原本ファイル・位置・ハッシュが記録され、どの文が何を根拠にしているか遡って追跡できます。

그린바이오텍

研究ノート自動化システム

IR-2028-2580689

ローカル保存 (このブラウザ)

ワークスペース

ダッシュボード

ロードマップ

プランナー

研究ノート

証拠台帳

性能指標

システム

AIエージェント

設定

AAA-RNS v2.0

AIエージェント研究ノート自動化システム

AI Agent-driven Autonomous Research Notebook System

Developed by **Seung Ho Jung**

← 性能指標 IR-2028-2580689 D-505 M0/37

テーマ: インスティテューショナル 自分の名前 日本語

에너지 효율

• 데이터なし

%

目標 66% ·高いほど良い ·実測0件

67.0

66.0

65.0

M1M37

처리 지연시간

• 데이터なし

ms

目標 73ms · 낮을수록 좋음 · 실測0件

74.0

73.0

72.0

M1M37

예측 정확도

• 진행 중

66 %

目標 89% ·高いほど良い ·実測1件

89.5

77.5

65.5

M1M37

実測値は確定 (sealed) された研究ノートの測定値からのみ自動累積されます。補間・外挿は行いません — 存在しないデータは描画しません。

性能指標

ノートが確定するたびに測定値が指標ごとに蓄積され、目標に対する推移が描かれます。各点は確定ノートの実測値であり、補間も外挿も行いません。

26のAIエージェント



図9 — AIエージェントの編成。詳細設計は agents/MAS_SPEC.md にある

5	6	6
企画	収集	執筆
4	2	2
検証	出力	記憶

統括1つを含む7階層の編成です。グループごとにリードが成果物の完結性に責任を持ち、形式が固定されたパケットで通信します。

決定論コア (パーサー・ゲート・ハッシュ) は LLM なしでブラウザ上で直接実行されます。AI エンジンの接続は任意で、AI が推敲した文もゲートが再検証します — 記録を遮断する権限は常に決定論コアが持ちます。

保存先とバックアップ

ローカルモード (既定)

このブラウザの内部ストレージ。個人利用・体験には十分です。

共有フォルダモード (推奨)

指定した実フォルダに全記録がファイルとして保存されます。チーム協業・本番運用向け。実際のアクセス制御はフォルダの共有設定で行ってください。

保存構造 (両モード共通)

data/	課題構造・プランナー・指標・監査ログ (追記専用)
notes/	研究ノート — 状態・署名・ハッシュを含む
notes_files/	アップロードした原本ファイル
ledger/	証拠台帳
archive/	確定ノートの永久保管版 — アプリが書き換えません

全体バックアップ (.zip・原本を含む)

ファイルごとの SHA-256 一覧が同梱されます。復元は全ファイルの完全性検証を通過して初めて始まり、1バイトでも破損したバックアップなら既存データは一切変更されません。

頻度

確定ごとに自動アーカイブが残るため、ZIP バックアップは月1回で十分です。最終バックアップから30日が経つとダッシュボードが知らせます。取得したバックアップは外付けディスクや社内 NAS など別媒体に保管してください。

権限とセキュリティ

バックアップ・復元・初期化はデータ管理責任者にのみ表示され、PIN を再確認します。完全オフライン動作 (CSP connect-src 'self')、ハッシュチェーンによる改ざん検知、追記専用の監査証跡が標準です。

システム初期化はすべてのローカル記録を消します — 必ず先に全体バックアップを取得してください。

トラブル対応

症状	対処
ブラウザが自動で開かない	アドレス欄に http://localhost:8777? ? ? ? ? ? ? ? ? ?
「ポートを開けません」エラー	すでに起動中のサーバー窓があるか確認し、あればその窓を使います。
画面が崩れる、古い画面が表示される	強制リロード — Windows Ctrl+Shift+R / Mac Cmd+Shift+R
共有フォルダ接続ボタンが動作しない	Chrome または Edge を使っているか確認します。他のブラウザはフォルダ接続に対応していません。
自動執筆の結果が0件	記録の日付がノートの作成期間内にあるか確認します。期間外ならシステムが正しいノートを提案します。
最終承認が拒否される	承認者の名前が作成者と同じでないか確認します。相互承認の原則により本人承認は遮断されます。
ライセンスキーが無効と表示される	キー全体が漏れなくコピーされたか確認し、失敗が続く場合は開発者に再発行を依頼します。

法的告知

配布条件

本プログラムは Apache ライセンス 2.0 で配布される公開ソフトウェアです。Copyright © 2026 Seung Ho Jung.

開発者・配布者の責任範囲

開発者および配布者は、本プログラムの使用または使用不能から生じるいかなる損害や法的責任も負いません。

As Is

本ソフトウェアはいかなる種類の保証もなく「現状のまま (as is)」提供されます。

利用機関の責任

記録データの管理・バックアップ・セキュリティ、および関連規程の遵守責任は利用機関と利用者にあります。

はじめの30分

0-5 MIN

インストールと認証

解凍 → 起動ファイルをダブルクリック → 言語選択 → ライセンス認証 → 氏名・PIN 登録

5-10 MIN

プロジェクト生成

sample_docs をアップロード → 抽出結果の確認・修正 → システム生成

10-20 MIN

最初のノート下書き

プランナーでスプリントを開く → 実験日誌・測定 CSV をアップロード → 自動執筆

20-30 MIN

確定と出力

ゲート判定の確認 → 署名 → 相互承認・確定 → DOCX 正本のダウンロード

参考資料

docs/インストール・利用ガイド.pdf – 実際の画面キャプチャとともに全工程を案内・docs/利用マニュアル.md・docs/検証報告書.md

問い合わせ

ライセンスの発行・再発行および技術的な問い合わせは、開発者 (Seung Ho Jung) にご連絡ください。